

# 大倭病院

## 地域医療構想における対応方針

平成 3 1 年 1 月作成

病院名：大倭病院 医療圏：奈良

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

奈良医療圏において現在不足している回復期機能を担っていきたいと考えています。地域において急性期後の患者さまを早期に受入れ、十分な量と質の高いリハビリを通じて機能回復を図り、在宅復帰の推進及び介護保険申請から必要に応じた退院支援先との連携により、地域医療に貢献したいと考えます。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり  
明らかになるようご説明ください

現在、当院で行っている外来一般診療及び整形外科の手術、輪番制の救急医療については、2年後の新築移転後は行いません。

当院はリハビリテーション領域に特化し、急性期病院の受け皿としての役割を担ってまいります。

② ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

地域連携室を通じて急性期病院との密な連携を第一に考えています。また当院入院後の退院先については在宅復帰が殆どですが、一部の患者さまにおいては諸事情により難しいケースもありその場合は他の医療・介護施設や医療・介護・福祉サービスとの連携を考えています。

## 2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

### ①機能毎の病床数のあり方等について

		現在 (H29年度 病床機能報告)		将来 (H37/2025年度)	増減
高度急性期		床	→	床	床
急性期	重症急性期	床		床	床
	軽症急性期	56 床		0 床	-56 床
回復期		52 床		108 床	+56 床
慢性期		床		床	床
(合計)		108 床		108 床	0 床